

【評価実施概要】

事業所番号	174600536		
法人名	有限会社ケアサポートふる郷		
事業所名	ケアサポート・ワンズホーム		
所在地	〒080-0011 帯広市西1条南36丁目1番27号 (電話) 0155-47-5571		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成19年6月1日	評価確定日	平成19年6月6日

【情報提供票より】(19年5月22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 平成 15年 3月 20日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	14 人 常勤10人, 非常勤4人, 常勤換算12.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛メッキ 造り
	2 階建ての 1 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 ~ 56,000円の3段階	その他の経費(月額)	円
敷 金	有 (円)	<input checked="" type="radio"/> 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

(4) 利用者の概要 (5月 22日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護 1	3名	要介護 2	5名
要介護 3	5名	要介護 4	5名
要介護 5	0名	要支援 2	0名
年齢	平均 87 歳	最低 75 歳	最高 98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	長屋内科胃腸科医院、協立病院、よしだ歯科医院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは帯広駅南方2kmの閑静な住宅街にあり、西に大型商店街、東に札内川の河畔にあって自然環境に恵まれている。かつ、敷地内に高山植物の石庭が施され落ち着いた生活環境を整えている。入所者のほぼ全員が各自に応じた役割や楽しみの支援を受け、経営者と職員が一体で優しい介護による多様で活気のある生活が営まれている。職員は目配り、気配りよく丁寧で親しみある介護に懸命な努力をしている。家族とのきめ細かな情報交換関係もよく、近隣との理解と支援の関係も出来ている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回は地域との更なる関係の形成に努力するよう指摘されていたが、運営推進会議による地域の代表者などの理解も進み、今後の進展が期待できる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は従前の反省にたち、職員は確かな受止めと具体的な実践について協議検討し研鑽している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>利用者の生活状況、ケアの実情、利用者との理解や行事等の参加、包括支援センターとの支援関係など幅広く協議されてホーム側の意向、関係機関や町内会との協力関係が話し合われている。このことがホームの今後の運営展開に大いに役立てられると思われる。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の来訪は多くホームも積極的に対応して家族と利用者の要望や意向を汲み取る努力を重ねている。月の便りは生活の状況、心身の変化の連絡などきめ細かな対応が見られる。苦情や不満をいかに汲み取るかを検討することとしている。調査でのアンケートは83%がよい、16.7%がまあよい、とあるのをみても職員の誠意ある支援が伺われる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>日常生活での地域との関係について自己評価は厳しいが、具体的にはホームの畑を近所の方が手伝うとか、親しい日常の挨拶、町内会行事の参加等があり、運営推進会議の運営成果も含め、今後の更なる発展に向けて努力している。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり いっしょに たのしく」をモットーにする福祉実践理念は全職員の活動指針として繰り返し、各自のケアの姿勢につながるよう受止めて、活動に活かされている。		この理念を地域に生きる活動の支えとなるよう、さらに定着を目指している。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をいかに具体的な日常生活に活かせるか、月1回の職員会議で検討協議を進め実践に結び付けている。		全職員がこの趣旨をさらに深く理解できるように取り組んでいる。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の行事、新年会、花見などに積極的に参加するなど交流を深め、日常的には散歩や隣接する畑仕事などで、地域の人々のお手伝いや会話・挨拶など交流を大切にしている。		ホームが地域に支えられるような、さらなる努力を重ねている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の機会が職員の1年間の反省と意欲の向上に役立てるとともに、実践してきた援助技術、個々の利用者や家族との対応方法、職員間や関係機関とのあり方などに活かしている。		さらに、1年1年の経験の積み重ねを大切にしたい評価結果の活用を目指している。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を積極的に受止めて、地域のありようとその理解や関係機関との連携の必要性を協議でき、理解を深めている。会議録も整理整頓されている。		2年目も運営推進会議を積極的に活かそうとしている。
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	通常の行政報告関係などのほか、間接的には十勝連絡協議会などの研修に参加して行政方針などの理解に努めている。また、管理者は市のケア会議委員を務めるなどケア行政に参加している。		今後も直接・間接的に市行政との連携を図るよう努めている。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との懇親会、ホーム便りの発行など家族との関係を特に大切にしている。来所時には日々の生活ぶり、心身の変化の様子を伝え合うとともに、月々の費用の請求・領収などの確認をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	懇親会や来所時の機会には苦情を含め、留意した意見交換がされて運営に活かしている。		外部評価やアンケート結果などをのホーム内に掲示し、かつ、運営に活かすよう努めている。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動は少なく、安定した職場環境を保って経営され、利用者は適切な処遇を受けて安定した生活を送っている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	現場での相互研修のほか外部での研修にも積極的に参加し、報告して全員の資質向上を図っている。		職員間の真摯な試行錯誤の過程をテーマにするなど、個々の技術レベルに応じた助言や指導を重ねている。
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	講習会などでの頻繁な交流を重ねて、職員相互の質の向上を図っている。		更なる訪問交流、意見交換の機会を持ち、サービスの向上を目指している。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入所以前の来所、入所体験なども含め本人、家族と話し合っ、入所後の不安のないような対応に努めている。以後も、利用者間や場に馴染めるような場作りや雰囲気作りに工夫を重ねている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしなが喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	実践理念にあるように、利用者の生活層などを踏まえて趣味や活動能力に応じた支援関係を保ち、利用者に教え、支えられる関係を作るように努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式によるきめ細かな情報収集を心がけて、個々の希望や意向を汲み取り、家族の情報を加えて、利用者本位の処遇をしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日常、職員間のケアの情報交換を重ね、ケアマネジャーとの協議を重ねた介護計画の策定に基づき、かつ、定例のカンファレンスで密度の濃い実践につなげるよう、見直しながら計画が策定されており、本人・家族の同意・確認を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は期間に応じて見直し、利用者の心身の変化に合わせて弾力的な介護計画が立てられている。本人や家族とも協議確認ができている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>病院の通院、送迎、ショートステイ関連の支援など関係機関との連携のもとに、本人、家族の要望に応じて支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>毎月の定期健診のほか利用者の心身の変化に応じて、それぞれの掛かりつけ医の診療を支援している。</p>		<p>緊急時の対応など関連機関との密接な連携を図るよう進めている。</p>
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>平均年齢87.6歳の割には元気な方も多く、利用者の状況に応じた家族との情報の共有を進めつつある。</p>		<p>全職員が終末期ケアの問題に関心を持ち、家族とともに見取りのケアの対応が出来るよう努力しつつある。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>親しくすることと馴れ合いになることを区別した対応を心がけている。個々の言動、思考、態度に留意し、個人の記録と管理など適正な注意を払っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ひとり一人の意向、感情、判断を理解し、かつ、個々のペースに合わせて、その処遇過程を大切にしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は皆が楽しみにしていて、下ごしらえ、盛り付けなどの手伝いととも、利用者の心身の状況に合わせた美味しい食事に行っている。職員も見守りながら利用者は食事を団欒の中で楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	予定にこだわらない本人の状況に応じた入浴体制をとっている。楽しめる入浴を目指している。		難しい場合もあるが利用者の希望に応じた楽しい入浴を心がけている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	近くの畑、珍しい石の庭、園内外の鉢物の世話、書道、飲酒、たばこ、散歩など利用者の楽しみに応じた個別的対応、外食、ドライブ、ゲームなど生活のリズムに合わせた対応をしている。		なお、役割や張り合い、気晴らしのできる行事、レクリエーションを検討している。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、外食、コンサートなど希望に応じた戸外活動の機会を多くするよう努めている。		どのように声をかけ、機会を捉え支援するか、さらなる検討を重ねている。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵をかけない対応のための個々の利用者の状況を把握できるような対応を心がけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署や業者の協力を得て、年2回の防災訓練を実施して、避難経路、設備状況の確認し、運営推進会議の議題としても提案して支援を得ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の協力を得て、バランスのよい栄養管理と、利用者の心身の状況に合わせた量、食物形態、水分などの確保に留意している。個々の好み習慣に配慮した支援を心がけている。		水分補給は嫌がる傾向にあり、種々の飲料水を用意するなど工夫を重ねている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	1階の居間は全員で食事を楽しめる空間であり、日常皆が楽しめる馴染みの場として利用されている。居室とトイレの位置なども均等に配置され、廊下の幅、エレベーター、浴室と水場の連動した動きやすい設計となっている。採光、植物の配置、室温管理など行き届いている。		ひな祭りや5月人形・七夕を飾るなど季節感のある生活を心がけるような、更なる検討が進められている。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの家具、道具、家族の写真や飾り物など家族との関係を含め利用者の生活に馴染む居心地のよい場作りに工夫をしている。		家族が1泊できるような場作りも検討されている。

 は、重点項目。